

主日礼拝

2020年7月19日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「諸国の民よ、こそって主に帰せよ
栄光と力を主に帰せよ。
御名の栄光を主に帰せよ。
供え物を携えて神の庭に入り
聖なる輝きに満ちる主にひれ伏せ。
全地よ、御前におののけ。」 (詩編96:7~9)

頌栄 24「たたえよ主の民」

たたえよ主のたみみつかいとともに、
めぐみにあふれるちち子・せいれいを。
アーメン。

十戒交読 (裏ページ)

祈祷

献金

献金箱が受付に置いてありますので、礼拝前にお献げください。

主の祈り

てん われ ちち
天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげめさせたまえ。
くに きた
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
ち
地にもなさせたまえ。
われ にちよう かに きょう あた
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
われ つみ もの われ
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
われ つみ
我らの罪をもゆるしたまえ。
われ
我らをこころみにあわせず、
あく すく いた
悪より救い出したまえ。

くに さか かぎ
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

聖書 ヨハネによる福音書 5:19~36

新約(新共同訳) P172~P173

そこで、イエスは彼らに言われた。「はっきり言っておく。子は、父のなさることを見なければ、自分からは何事もできない。父がなさることはなんでも、子もそのとおりにする。父は子を愛して、御自分のなさることをすべて子に示されるからである。また、これらのことよりも大きな業を子にお示しになって、あなたたちが驚くことになる。すなわち、父が死者を復活させて命をお与えになるように、子も、与えたいと思う者に命を与える。また、父はだれをも裁かず、裁きは一切子に任せておられる。すべての人が、父を敬うように、子をも敬うようになるためである。子を敬わない者は、子をお遣わしになった父をも敬わない。はっきり言っておく。わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになった方を信じる者は、永遠の命を得、また、裁かれることなく、死から命へと移っている。はっきり言っておく。死んだ者が神の子の声を聞く時が来る。今やその時である。その声を聞いた者は生きる。父は、御自身の内に命を持っておられるように、子にも自分の内に命を持つようにしてくださったからである。また、裁きを行う権能を子にお与えになった。子は人の子だからである。驚いてはならない。時が来ると、墓の中にいる者は皆、人の子の声を聞き、善を行った者は復活して命を受けるために、悪を行った者は復活して裁きを受けるために出て来るのだ。わたしは自分では何もできない。ただ、父から聞くままに裁く。わたしの裁きは正しい。わたしは自分の意志ではなく、わたしをお遣わしになった方の御心を行おうとするからである。」

「もし、わたしが自分自身について証しをするなら、その証しは真実ではない。わたしについて証しをなさる方は別におられる。そして、その方がわたしについてなさる証しは真実であることを、わたしは知っている。あなたたちはヨハネのもとへ人を送ったが、彼は真理について証しをした。わたしは、人間による証しは受けない。しかし、あなたたちが救われるために、これらのことを言っておく。ヨハネは、燃えて輝くともし火であった。あなたたちは、しばらくの間その光のもとで喜び楽しもうとした。しかし、わたしにはヨハネの証しにまさる証しがある。父がわたしに成し遂げるようにお与えになった業、つまり、わたしが行っている業そのものが、父がわたしをお遣わしになったことを証している。

賛美 532 「やすかれ、わがこころよ」

Stille, mein Wille
詞: Katharina von Schlegel, 1697-?
FINLANDIA
曲: Jean Sibelius, 1865-1957

1 やすかれ、わがこころよ、
2 やすかれ、わがこころよ、
3 やすかれ、わがこころよ、

主 イエスはともになります。
なみかぜ たけるときも、
つきひの うつろいなき

いたみもく るしみをも -
おそれもかなしみをも -
みくには やがてきたらん -、

しずかにしのびたえよ。
みむねにすべてゆだねん。
うれいはとわにきえて、

主 イエスのともになせば、
み手もてみちびきたもう、
かがやくみかおあおぐ、

たええぬ なやみはなし。
のぞみの きしはちかし。
いのちの さちをぞうけん。

説教 「命がよみがえる」

賛美 579 「主を仰ぎ見れば」

詞: 宮川勇, 1889-1945
OMIYA
曲: 土屋(流傳)初枝, 1909-?

1 主をあおぎみれば ふるきわれは、
2 うつくしのみやこ、エルサレムは、
3 うるわししたわしとわのみくに、
4 つゆほどいさおの あらぬ身をも、

うつしよとともに とくさりゆき、
いまこそくだりて われにきつれ、
うらにめぐみの 日かげさせば、
きよめてみくにの よつぎとなし、

われならぬわれの あらわれきて、
主ともにいませば つきぬさちは、
いのちのこのみは みのりしげく、
かがやくまくやに すませたもう、

みずやあめつちぞ あらたまれる、
きよきかわのごと わきてながる、
もはや死のかげも なやみもなし、
わが主のあいこそ かぎりなけれ、

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏

司式 松浦 房枝
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。

十戒交読

司式者 わたしはあなたの神、主であって、
あなたをエジプトの地、奴隷の家から
導き出した者である。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

司式者 あなたはわたしのほかに、なにものを
も
神としてはならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を
造ってはならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、
みだりに唱えてはならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

司式者 あなたの父と母とを敬え。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは殺してはならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは姦淫してはならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは盗んではならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは隣人について、偽証しては
ならない。

会衆 ^{しゅ}主なる^{かみ}神よ、われらを^{たま}あわれみ給え。

司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。

会衆 サント サント サント (讚美 85)

85 「サントサントサント」



サント サント サント、こころをこめて、さ
San - to, San - to, San - to. i Mi cor - a - zón te a - do ra! Mi



さげよういのり、せいなる主に。
Cor - a - zón te sa - be de - cir: i San - to e - res Señ - or!